

北広協ニュース

発行/一般社団法人
北海道広告業協会
〒060-8545 札幌市中央区大通西5丁目11-1
電話 恒産ビル5階 ☎(011)221-2634
(-社)北海道広告業協会は、
広告業の健全な発達と
広告活動の改善向上を図り
もって北海道経済の発展と
道民生活の向上に寄与する
ことを目的とする。

今年を振り返って 「ふたつの課題」



(一社)北海道広告業協会
会長 井上 幸三

2016年を振り返ると「四年に一度」の出来事に、心を動かされたように思います。ひとつは言うまでもなく8月にリオデジャネイロで開催されたオリンピック、パラリンピックです。開催前には様々な不安が伝えられてきました。交通網などの施設建設の遅れ、治安の悪化、市民の反対運動など。しかしこれらは杞憂に終わり、大会が進むごとに競技本来の熱狂と感動とに世界中が包まれていくようでした。

特に私が感動を禁じ得なかったのは、男子4×100メートルリレーの銀メダルです。巷で賞賛されるバトンパスの見事さや言うまでもありませんが、4人の若者の適材適所ぶりには感動させられました。スタートダッシュに秀でていた者、コーナーリングを得意とする者、後半のスパートに力を発揮する者。誰か一人が欠けても、銀メダルの快挙は果たされなかったに違いありません。私たちの日々の仕事においても、適材適所の能力を見極めることの重要性を深く感じた次第です。リオオリンピックは、開催決定にあたって4つの都市が立候補していました。マドリッド、東京、シカゴ、そしてリオ。当初の予想では決して評価が高くなかったリオでの開催が、周りの心配をよそに盛況のうちに閉幕したと、その意味に思いを致しています。そして、札幌市は2026年冬季オリンピック、パラリンピックの招致に名乗りを上げました。札幌大会がどのような感動を生み出すことができるのか。その舞台を整えるために私たちにできることは何かを2017年の課題のひとつとして考えて行きたいと思えます。

そして2つ目の出来事は、アメリカ大統領選挙でした。ご存じの通り、長きにわたる選挙戦を通じて、主要なメディアは「クリントン優位」の報道が圧倒的多数でした。各種の世論調査がその根拠になっていたことは言うまでもありません。しかし実態は大きく異なりました。これまでとは全く違う「民意」を捉えるには、調査の方法が後手にまわっていたのです。このことは私たち広告界に生きるものにとつて非常にショッキングな出来事でした。新しいマー



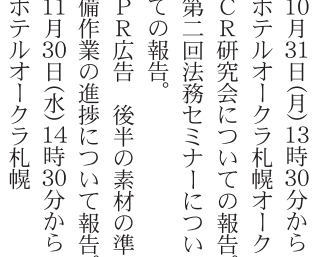
ケティン・リサーチ、生活者の真意を探る手法を著実に開発してはなりません。2016年のふたつの出来事から、2017年のふたつの課題を記してみました。明年も北広協に集う各社の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

四月に著作権の侵害をテーマに開催された、第一回法務セミナーの好評を受け10月24日(月)に約140名の参加者を集めて、第二回法務セミナーを開催致しました。今回は、(株)博報堂 法務室法務ディレクターの井上多英子氏が講師となり、広告代理店のみならず媒体社や印刷会社も避けては通れない「著作権・商標権・肖像権」の三つの権利とその落とし穴について、『広告表現をとりまくリスク』と題して、実例に則した形で解説して頂きました。尚、来年も広告法務に関するセミナーを開催する予定です。



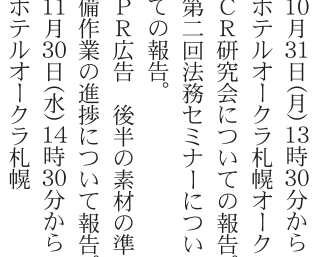
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。今回の講師は、電通中部支社クリエイティブディレクター 土橋 通仁氏で「制限を突破する方法」と題して講演頂きました。土橋氏は、印刷会社・制作会社・フリーを経て電通中部支社に入社。一貫して名古屋をベースにお仕事をされ、カンヌ等の海外の賞も多数受賞されるとともに、カンヌライオンズデザイン部門の審査員も務められています。今回は、名古屋という地域の制限をどのように突破し、世界的な評価に繋がっていったのか? 参加された方々からは、広告展開の切り口としてとても参考になった等、好評を頂きました。



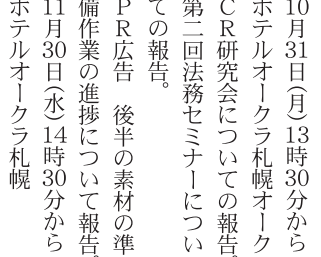
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

10月11日の動き
●10月31日(月)13時30分からホテルオークラ札幌ホールにて「CR研究会」についての報告
◇第二回法務セミナーについての報告
◇PR広告 後半の素材の準備作業の進捗について報告
●11月30日(水)14時30分からホテルオークラ札幌



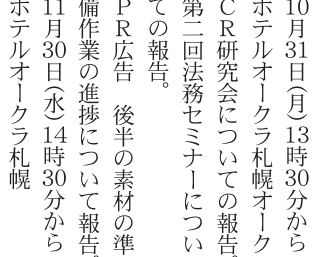
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

2016 56th ACC CM FESTIVAL 開催!!
ACC CMフェスティバルの入賞作品の発表会を開催いたします。
【日時】2017年2月17日(金) 13時30分
【会場】STVホール 北1条西8丁目
【主催】全日本シーエム放送連盟(ACC)
【共催】(-社)北海道広告業協会・全北海道広告協会
【後援】総務省
※入場無料、先着80名様(会員社限定)に入場整理券を差し上げます。定員になり次第締め切ります。
詳しくは、事務局にお問い合わせ下さい。
TEL 011-221-2634
FAX 011-210-6407



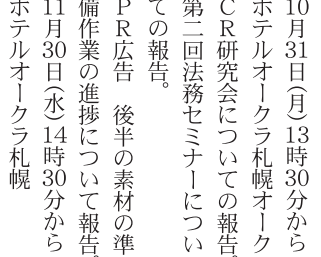
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

全国広告業団体 連絡会議
◎平成28年度前期連絡会議
10月7日(金)12時から 電通銀座ビル8階会議室
25団体中22団体出席
◇各団体エリアの景気動向及び活動報告



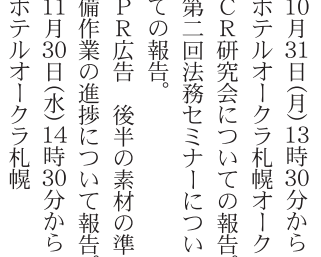
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

チェルシー
◇PR広告素材搬入完了の報告
◇正会員社在籍社員数調査の結果報告
◇アンケート結果報告



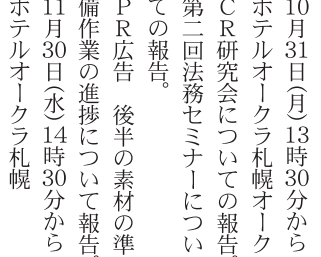
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

明日へのベクトル
連載 70
本当の魅力を
生むもの。
マーケティングプランナー
白井 栄三



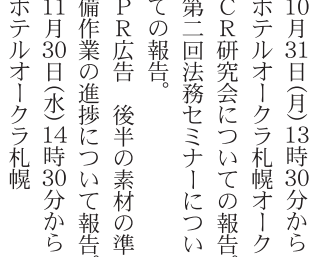
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

フランス北西部、ブルターニュ半島の根元にナント市という港町がある。ナントと聞いただけで、目を輝かす人もいるだろう。たくさん観光客をひきつける、フランス第六の都市だ。「ヨーロッパで最も暮らしやすい都市」として、数回選ばれてもいる。なぜ、このまちが人気を集めているのだろうか。
先日ナント市の、ルリユー・ユニック・ナント芸術センター長パトリック・ギゲール氏から話を聞くことができた。札幌で開かれた日本アートマネジメント学会全国大会で、ギゲール氏が講演したのだ。話の内容は、北海道のまちにも大いに参考になるものだった。ナントは、一時期まで衰退の道を通っていた。一九八〇年代に造船所が閉鎖され、目立った産業がなくなった。しかし、九〇年代からナントは芸術によって大きく変身していく。九五年からラ・フォー・ジュルネを開催。フランス最大級のクラシック音楽祭だ。音楽だけではない。ナントを世界的に有名にしたのは、まち全体に繰り広げられる現代アートとパフォーマンスである。訪れた人々の期待を超えたときめきが展開される。旧造船所の跡地では、ケタ違いに巨大な機械仕掛けのアトラクションが見る人の度肝を抜く。ギゲール氏の語で、最も印象的だったのは「ナントはここを訪れる人々に常に挑戦をしている」という言葉だ。テレビではないので、喜ばせることを第一には考えない。いつもリスクをとっている。なぜなら、アートは見る人への挑戦だからだ。言葉は、まちづくりを考えるうえで、きわめて示唆に富んでいる。人々の顔をうかがわず、自分たちのやり方を信じて挑戦する。そこに、本当の魅力とパワーが生まれるのかもしれない。人々にアイデアで勝負を挑むような広告がもっとあっていいと思う。



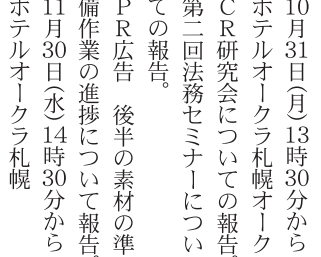
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

CUDマークは、色覚の個人差を問わず見やすいようにカラユニバーサルデザインに配慮して作られていると、NPO法人CUDO(※)は北海道CUDO(※)によって認定された施設・製品に対して発行・表示されるマークです。
当協会も制作に関わる事等、連携して情報を発信してまいります。
<http://www.cudo.jp/>



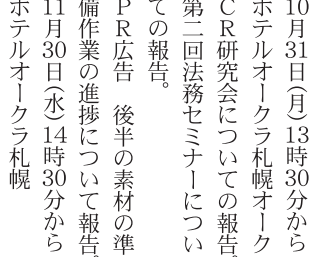
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

ミカタを変える、
イチオン!
月~金 3:55 道内ニュースは 6:15~
もっとミカタに。
THE 追跡します
毎日!お届け 国井のミカタ



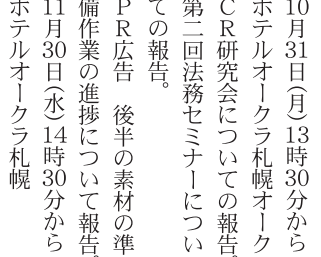
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

高橋春花
ヒ口福地
佐藤よしつぐ
国井美佐



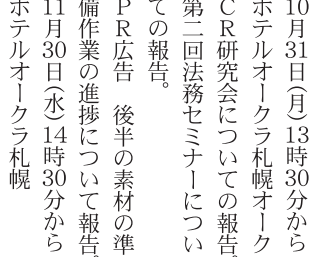
10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

気になる情報
News
また知「隊」



10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

日本一の
アタマ
愛



10月25日(火)全北海道広告協会との共催による実務者セミナーが開催されました。

6
ユメミル、チカラ HTB

